



## 申 立 て の 趣 旨

申立人に対し、 $\left\{ \begin{array}{l} \square \text{就職時} \\ \square \text{平成 年 月 日} \\ \square \text{令和 年 月 日} \end{array} \right\}$  から  $\left\{ \begin{array}{l} \square \text{本件申立日} \\ \square \text{令和 年 月 日} \\ \square \text{終了時} \end{array} \right\}$

までの間の申立人の報酬として、本人の財産の中から相当額を与えるとの審判を求める。

## 申 立 て の 実 情

1 申立人が行った事務の内容は、

- 既に報告したとおりである。
- 本日付事務報告書のとおりである。
- 別紙記載のとおりである。

※ 申立期間において、本人のために特に行った事項

- 訴訟，非訟，家事審判，調停（事件名 \_\_\_\_\_）
- 訴訟外の示談                       遺産分割協議
- 保険金請求                             不動産の任意売却
- その他（ \_\_\_\_\_ ）

2 その他参考となる事項

-----

-----

-----

-----

-----

-----

(注) 太枠の中だけ記入してください。